



“人の役に立ちたい！”という熱い思いをもつ仲間が集まって、
キーワードは自分たちで「気づこう！」・「考えよう！」・「実行しよう！」ぜんぶ自治です！



「がんばれ〜！！」の気持ちを募金にして、送ることなら、私たちにできるぞ！と「気づき・考え・実行」しています。1年間で35万円くらいを募金しています。



平田地区には一人暮らしの高齢者が約160人、体が動かしにくい方が何千人もおられるそうです。ふれあうことでお互いに心が通じて笑顔になれるし、気づくこと・学ぶことがたくさんあります。



子どもたちを ほめてあげると、できることがどんどん増えていくのを肌で感じられます。
ケンカした時のあやまり方や、危険なことは何か、等々、保育士さんや子どもたちから学んでいます。



体が不自由な方も安心して暮らせるにはどうしたらいいかを、みんなで考えながら研修しています。
全員が“あいサポーター”になりました。バッジをつけて理解と協力を表しています。



いざという時、県民みんなが“いのち”を守れるようになってほしい！と願い、
オリジナルの防災啓発『体験型』を地域でたくさん企画・実施しています。

みんなが気持ちよくくらすには？

EM善玉菌で
避難所等の悪臭・防臭対策
& 土を元気にする公開講座

防腐、防臭、花いっぱい！

→EM善玉菌あり
→EM善玉菌なし

花の種は地域のボランティア団体→自分たちで育て→地域へプレゼント…という、循環をしています。
EM 善玉菌で、避難所や公共施設や日常生活での 腐敗・悪臭対策&土を元気にプロジェクトも始めました。

人にも環境にも…どんな活動ができるかな？

エコキャップ集め

▷エコキャップ ママさるごと

① 地球温暖化を防ぐ
ゴミとしてキャップを焼却処分すると、
キャップ 約430個 で約3.150g
のCO₂ が発生してしまいます。

② 子どもの命を救う
キャップ 約800個 でポリオワクチン
を1本つくれることができます。

ご協力をお願いします。

キャップは活かせるんです！ JRC部

ポリオワクチン87人分

キャップを回収して
二酸化炭素を減らそう！
途上国へ
ワクチンを送ろう！

地域のNPO団体や有志の方々と連携し、古布を裂いて布草履にしたり、ペットボトルキャップを回収して排出二酸化炭素を1年間で約800Kg減らし、ポリオワクチン87人分を途上国へ贈りました。

たくさんの人に、すぐ行動できる強い気持ちをもってもらうには？

イベントなど人が集まる時に知らせよう！

地域の行事でスタッフとして活動しています。体の不自由な方や、突然の病気や事故や災害があった時に、どうすればいいか？を、子どもの私たちが発信していくと、皆さんが関心をもってくれますよ。



**突然
人が倒れたら
どうする？
自分1人だったら
どうしよう？**

**救急法を
身につけておこう！
資格をとろう！**

第32-17-0012号
認定証
氏名 _____
赤十字救急法救急員
上記の資格を有することを証します。
平成29年6月1日発行
発行日から5年間有効
日本赤十字社

もし、目の前で人が倒れたら、どうしますか？
いざという時のために、応急対処の方法を練習し、『救急員』の資格もとりました。



**人の“いのち”を
助ける行動は
どのくらいできる
ようになったかな？**

**研修を受けよう！
救急員になろう！
大会に出てみよう！**

赤十字救急法競技大会

その救急法がどのくらいできるようになったかを、競う大会もあります。中学生から80歳代まで、幅広い年代・幅広い社会的立場の人たちが参加します。(今年度は台風のため中止でしたが。)



**突然誰かが倒れたり、
災害が起きた時に、
日頃からすぐ
行動できるように
なっておいて
ほしいなあ**

**知識とノウハウを
『体験』してもら
企画をしよう！**



人は、一度経験しておく、次からの行動へすぐ移るようになる、という研究結果も出しました。先輩から代々改良を重ねてきて、『発表型』→『呼びかけ型』→『実演型』→『参加型』→『体験型』へ進化・深化させてきたオリジナルの成果『体験型』は、地域でも大好評で、効果をあげています



夏はサンレイクで小・中・高・特100人、リーダーシップ研修です。「地域で 人のために 役に立ちたい！」という熱い思いをもった子どもたちが熱く活動します。島根県代表で全国にも出場した部員もいます。



何をしたら喜んでもらえるかな？といつも考えています。今回は“七福神の飛び出す立体カード”を作り、一人暮らし高齢者宅を福祉推進員さんと一軒ずつ訪問しました。お礼にお花をいただき温かくなりました。



地域でいろいろな活動をしていることを、地域の方々がちゃんと見てくださっていたようで、「優良少年団表彰」を受けることができました。また、ぜひこのボランティアを全国へ発信してほしい、と 全国表彰も多数うけることができました。部員みんな“もっと人の役に立てるようになろう！”と喜んでます。